

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

国 語		東京書籍
総 評		<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に向けて、どのような力を付けるために学ぶのかを明確に意識させる内容となっている教材を取り上げている。考える内容を明確に示し指導に役立つ工夫がなされている。</p> <p>児童の発達段階・特性を踏まえ、論理的思考力・判断力・表現力の育成に資する配慮がなされている。</p> <p>交流活動につなげる適切な課題を取り上げている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のはじめに、見通すページを1ページ使っていることで、主体的・対話的で深い学びへの効果的な支援となっている。③ ○ 豊かな心・創造性の涵養をめざした教材を採り入れている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話す・聞く」「書く」「読む」の領域で課題解決学習に取り組むことで、児童の理解が深まるように工夫されており、思考力・想像力を育てる内容となっている。① ○ その学年で学ぶ「学習で使う言葉」をまとめているのが児童の理解に役立つとともに、国語に必要な知識・技能の内容として適切である。② ○ 取り上げている物語文教材、説明文教材が、児童の発達段階を考慮し、思考力・創造力・表現力育成に適した作品である。③ ○ 交流の視点を明確に示している。⑦
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丈夫な製本である。① ○ 挿絵・写真が鮮明で、イラストを含めて多く散りばめられているとともに、変化が感じられ、学びへの興味・関心を高める一助となっている。③ ○ 付録で紙面の色を変える等の工夫がなされ製本されているので、とても扱いやすい。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年で学習した「言葉の力」を各領域でまとめて明確に示しているので、定着していない力を振り返らせる等、指導に生かすことができる。特に6年生においては、初めに掲載しているのがよい。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と対応させて読み取り、考えを深められる工夫がなされている。① ○ 学習内容の理解を図ることができるように、児童の発達段階を踏まえた適切な挿絵・写真等が配慮されている。② ○ インデックス使用は学びの視点が明確に示され、とてもよい。② ○ 6年「世界に目を向けて意見を書こう」では、資料がまとめて提示され必要な資料が読み取りやすい工夫がなされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 点字の表が、実際に凸凹がなく平面であるところが配慮を要する。実際の点字をしようとすることで、関心・意欲も高められる。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で、これだけは読みたい本という一覧表、または紹介された一覧表がほしい。⑦
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙の色が少し淡白に感じられる。③ ○ 入門期の色遣いが原色できつい。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入門期の内容が創造力を広げ表現させることが難しいと感じる。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学ぶ言葉の力を各学年で資料として取り上げると、6年間を見通し今の学年での学習をより把握できるのではないか。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

国 語		学校図書
総 評		<p>児童が見通しをもって学習が進められるよう、巻頭に国語の学習の進め方が示されている。「つかむ」で見通しをもち、「見方や考え方を学ぶ」で考えを深め、「まとめる・振り返る」でまとめ、「広げる」で生活や社会に目を向け学習したことを生かしていけるように取り扱われている点はよい。しかし、色や文字の大きさ、表現の仕方について工夫がほしい。</p> <p>「話す・聞く」「書く」「読む」の各活動において、課題解決的な学習に取り組むことで、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ インクルーシブ教育（「わたしたち手で話します」（3年下等）、国際理解教育（ポレポレ、手で食べるはしで食べる（4年下等）に関連した教材が配列されている。今日的課題を取り上げているため、未来を切り開く児童の視野を広げるのに資すると考えられる。②
	2 内容の取扱い	○ 文章と対話している内容のところ、つぶやきを本文で番号表示しているので分かりやすい。③ ○ 2～6年の巻頭「ことばでつながる」などにおいて、他者と主体的に関わり伝え合う力を育成する内容が取り扱われている。③ ○ 読書習慣が形成されるように「読書の部屋」で、本の写真と題名の配列を工夫し配慮している。⑥
	3 外的要素	○ 5年生、6年生の本についても、上下巻を分冊にしているので、重量が重くなく扱いやすい。① ○ 表紙の挿絵は、表裏で対応させ関係をもたせて一つの話になっている。③ ○ 色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすい配慮をしている。④
	4 構成・配列	○ 「読書の部屋」が、題名・作者・本の表紙・内容と整理されているのでとても見やすく、興味・関心を高めるよう工夫されている。①
	5 資料・その他	○ 下巻・巻末に、「国語のカギ」「授業で使う言葉」として各学年で学ぶポイントが簡潔にまとめられているため、児童が必要に応じて既習内容を振り返ることができる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的に学ぶところに、もう少し助言やヒントとなる工夫がほしい。③
	2 内容の取扱い	○ 観点表記が小さめなので、児童が課題を意識して考える展開に配慮する必要がある。①
	3 外的要素	○ 高学年の写真資料が鮮明ではなく見にくい。また、写真の大きさがかなり大きく感じられるものがある。③
	4 構成・配列	○ 学習の手引きで振り返った内容がどのように日常場面で生かされていくのか説明が不十分である。②
	5 資料・その他	○ 高学年の写真資料が少ない。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

国 語		教育出版
総 評		<p>全学年に「学びリンク」があり、授業改善に資する配慮がなされている。また、全学年を通して「話す・聞く」「読む」「書く」という順で単元が構成されており、児童が発達段階を踏まえて学習できるように工夫されている。</p> <p>挿絵や写真資料等も最新のものを取り扱っているため、児童が興味・関心を示すことができる内容となっている。色も鮮明で、とても見やすく工夫されている。</p> <p>各教材において学びのステップを示し、学習課題と学習過程を可視化することで、学習者の主体性や意欲が高まる内容となっている。また、全単元に「ここが大事」が設けられ、単元で身に付けた力を他教科や生活に生かせるように取り扱われている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	「学びリンク」から関連のある図書、作者の紹介が掲載されており、授業改善に資するように配慮されている。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことが基になる言語活動が全単元に設定されており、児童の考えを表現できるよう配慮されている。① ○ 各単元で交流する活動が設定されており、伝え合う力を高められる内容となっている。③ ○ 各単元に、新出語句や重要語句が紹介されており、児童が語彙を段階的に習得できるように配慮されている。⑤ ○ 1年生の入門期の「木」をベースに話を発展させる手法がよい。⑤ ○ 活動の順や注意事項が詳細に掲載されており、活動の流れを把握できるように配慮されている。⑦
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 装丁は色彩が鮮明で、親しみやすいデザインとなっている。① ○ 挿絵や写真が鮮明で、情報をとらえやすくなっている。③ ○ 声の大きさを意識できるように文字の大きさに工夫が見られる。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「あ・い・う・え・お」が見開きページで見やすく比較できる。① ○ 「話す・聞く」「読む」「書く」という順で掲載され、思考力・判断力・表現力を効果的に指導できるような配列になっている。特に、「読む」「書く」という配列で「読む」単元で習得した学びを「書く」単元で生かすことができる。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞資料は最新の記事を採用しており、児童にとって身近で親しみがもてるものとなっている。① ○ 成果物の例になる資料を複数用意することで、児童が表現しやすい資料を選べるように配慮されている。② ○ QRコードを取り入れて、情報を収集しやすいように配慮されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 地域学習を取り上げている教材が少ない点には課題がある。①
	2 内容の取扱い	○ 関連図書の紹介が少なく、読書習慣の形成には課題がある。⑥
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行間が低学年にはやや狭く読みにくく感じられる。② ○ 低学年で文字が小さく児童の実態にそぐわないところがある。②
	4 構成・配列	○ 日常生活とどう関わるかを自ら判断する点で配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 新聞記事資料の写真、文字の大きさが小さく、ユニバーサルデザインへの配慮を要する。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

国 語		光村図書出版
総 評		<p>取り扱っている物語文教材は児童の発達段階や特性を十分踏まえ、想像力を広げ、豊かな表現力を育成する観点からすばらしい。ただ、学習内容の提案（手引き）が、児童にとって少し難しい箇所もあり、児童の実態によっては、取り扱い方に工夫が必要となると考えられる。</p> <p>QRコードを採り入れたことは、主体的・対話的で深い学びへの意欲向上に効果を発する。</p> <p>表紙・挿絵が優れている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ソーシャルスキルの手法を取り入れ、児童の豊かな心の成長に資する配慮がなされている。③
	2 内容の取扱い	○ 情報を取り出して活用することから取得した知識・技能を他の場面に使ってみるといった流れでの教材の取り扱い方が提案されている。① ○ 2～6年では「対話の練習」が設定され、他者と主体的に関わり日常生活に生きる対話の力をはぐくむ内容が取り扱われている。③ ○ 言葉の特徴や使い方、情報、我が国の伝統文化について「言葉の宝箱」や「季節の言葉」において取り扱われている。④
	3 外的要素	○ 物語文教材の挿絵がすばらしく、物語を楽しく読み、想像を広げるのに役立っている。③
	4 構成・配列	○ 入門期の構成が、身近に感じられ、想像力を育てるストーリー性豊かなものになっており、児童が想像を膨らませることができる。① ○ 学習の見通しが示されており、児童が何を学ぶのかを意識して学習に取り組むことができる。② ○ 学びを実社会にどのように生かしていけるかについての示唆もある。②
	5 資料・その他	○ 資料は効果的に使われている。① ○ QRコードを採り入れたことにより、タブレット等を活用して資料を必要に応じて取り出すことができるように配慮されている。② ○ 内容を動画で見ることができる等、学習に役立つリンクである。② ○ 主体的な学びへの効果的な支援となっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 教材の内容が多く盛り込まれているため、小単元2教材を取り扱っているもの等については、児童の主体的な学びを促すには難しい。③
	2 内容の取扱い	○ 児童の実態を考えたとき、内容に難しさを感じるものがある。⑤
	3 外的要素	○ 発達段階を考えると、低・中学年の文字が小さい。② ○ 読む・聞く・書くことの説明が多いことから、文字の大きさ、フォントが小さめで読みづらいところがある。②
	4 構成・配列	○ 「あいうえお」が複数ページにまたがっており、比較しにくい。①
	5 資料・その他	○ 例示や脚注、注意書き等が紙面にぎっしり盛り込まれ過ぎているため、大切なところ、注意を向けたいところがかえって分かりにくくなっている。②